

日時 平成27年7月29日
午後7時～9時
場所 上庄公民館



コンビニ交付の実施に向けて



コンビニ交付サービスの検討に至った背景

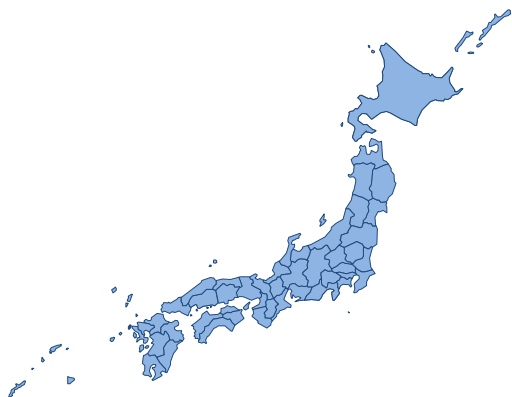
- 平成27年度中に交付機とサーバーの更新が必要となる
- 住民ニーズの高まり
 - ・サービス拠点拡大の要望
- 行政サービスに対するニーズの多様化
 - ・銀行ATMの夜間休日利用、コンビニATMの定着
- 行政手続きの簡素化
 - ・申請手続きの簡素化への要望



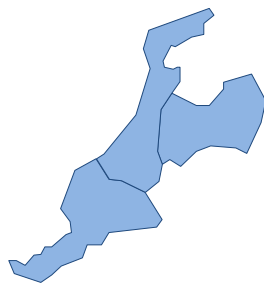
コンビニ交付サービス実施による課題解決

導入効果① 発行拠点数の拡大

コンビニ交付サービスの最大の特徴は、
証明書交付拠点数が格段にふえます。



全国約46,000店舗



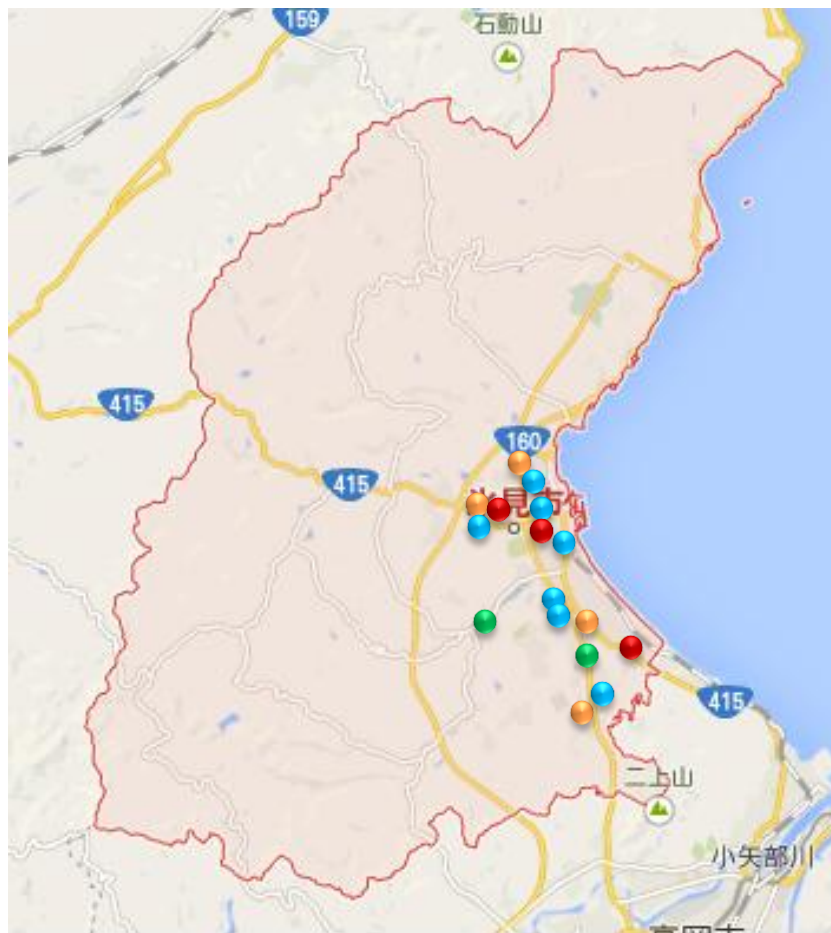
北陸三県約1,300店舗



富山県内約460店舗

導入効果① 発行拠点数の拡大

氷見市内のコンビニは合計16店舗
証明書を取得できる場所が大幅に拡大



- セブンイレブン（4店舗）
- ローソン（7店舗）
- ファミリーマート（2店舗）
- サークルKサンクス（3店舗）

導入効果② サービス提供時間の拡大

コンビニ交付サービス実施により
さらに提供時間を拡大します。

現在の氷見市証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
証明書自動交付機	09:00-19:00	08:30-17:00

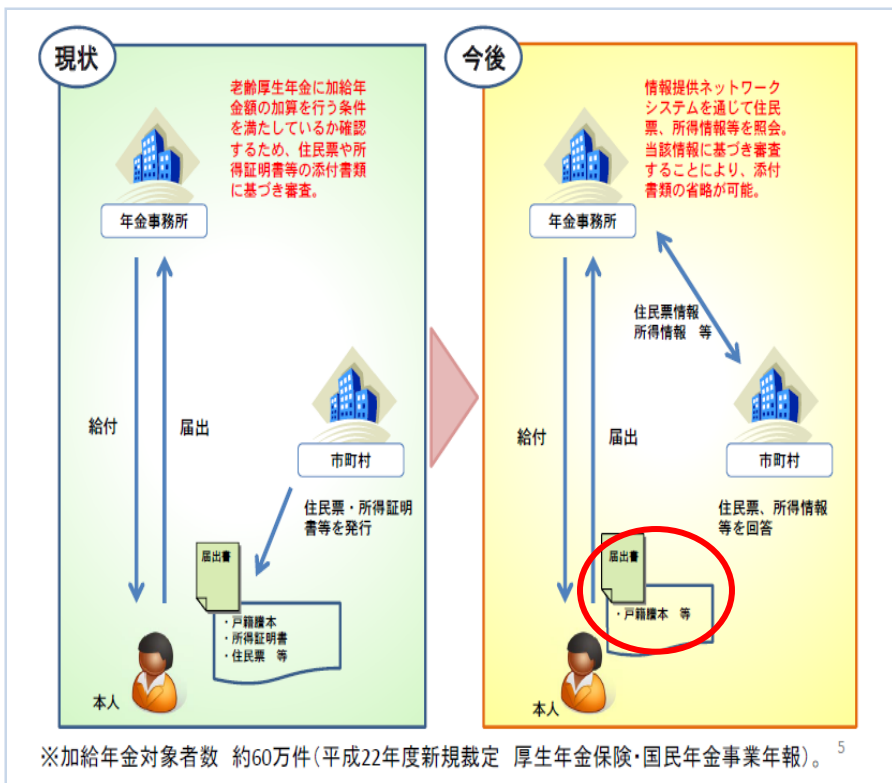
コンビニ交付サービス導入後の証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
全国各コンビニ店舗	06:30-23:00	06:30-23:00

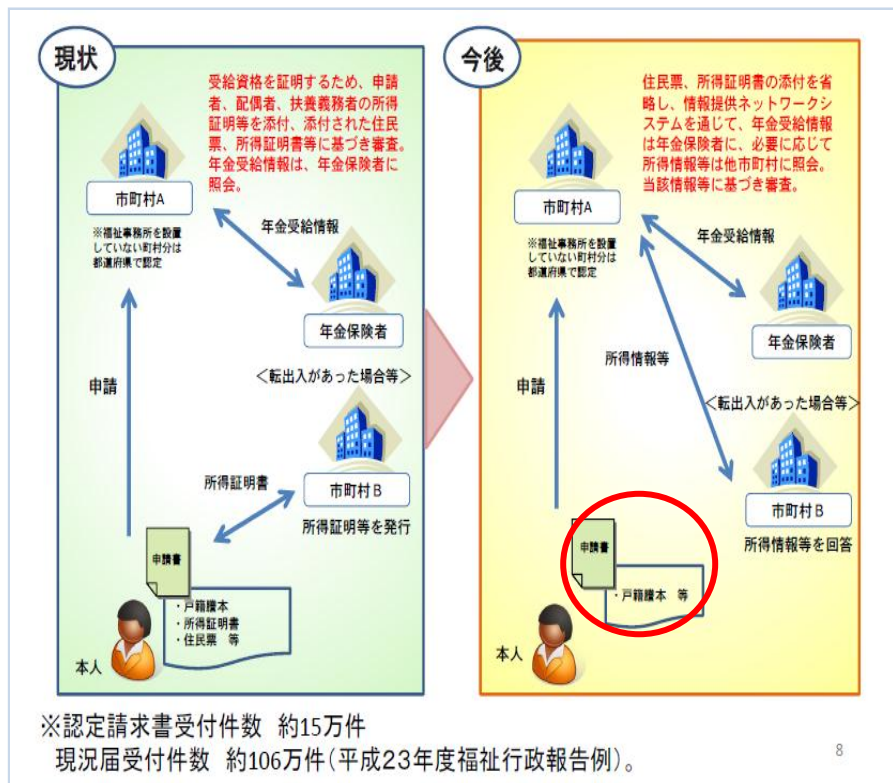
導入効果③ 戸籍証明書の対応

将来的には住民の証明書取得の機会は減るが、印鑑証明や戸籍証明は必要

老齢厚生年金の加給年金額の加算に関する手続



児童扶養手当の認定申請



- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室 地域防災室
地方創生政策監	宮本 祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
建設農林水産部長	福島 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
教育次長	草山 利彦	教育総務課 学校教育課 教育総合センター 図書館 博物館
地域担当職員	新井 和浩	(所属) 地域防災室
地域担当職員	栗屋 正弘	(所属) 福祉介護課

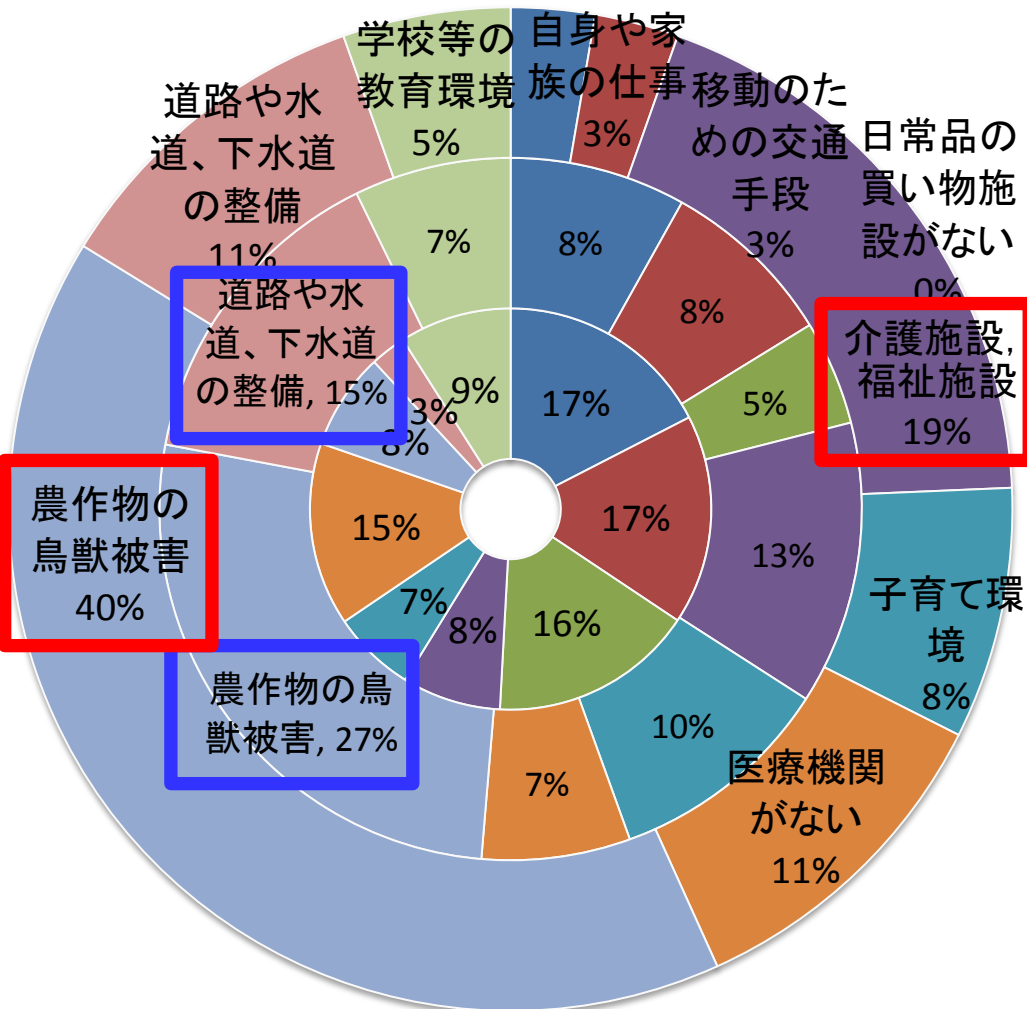
昨年のふれあいトーク報告

困り事

日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？

関心事

ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？



外円:上庄地区
中円:氷見市全体
内円:全国農漁村調査結果

古民家の件

環境対策関係、人口対策

空き家対策・問題

イノシシ対策

対応済

402-福祉について
403-産院、助産院の把握
406,407-イノシシ対策（継続）
25/2047-県営ため池の整備（継続）

27年度内

401-空き家老朽化

可能

28年度以降

404-鞍川往易線の工事
408-小学校の統合

未定

25/2044-栗屋前田線の水路

不可能

405-事業所向けの合併浄化槽補助

今年度の対策

○ハード

電気柵、ワイヤーメッシュによる侵入防止総延長 約400km
捕獲檻17基増設予定 総数109基

○ソフト（環境づくり）

エサや隠れ場所対策等の周知用チラシ、パトロール強化

捕獲数

○**142頭**（7/29現在、同時期64頭） 昨年412頭

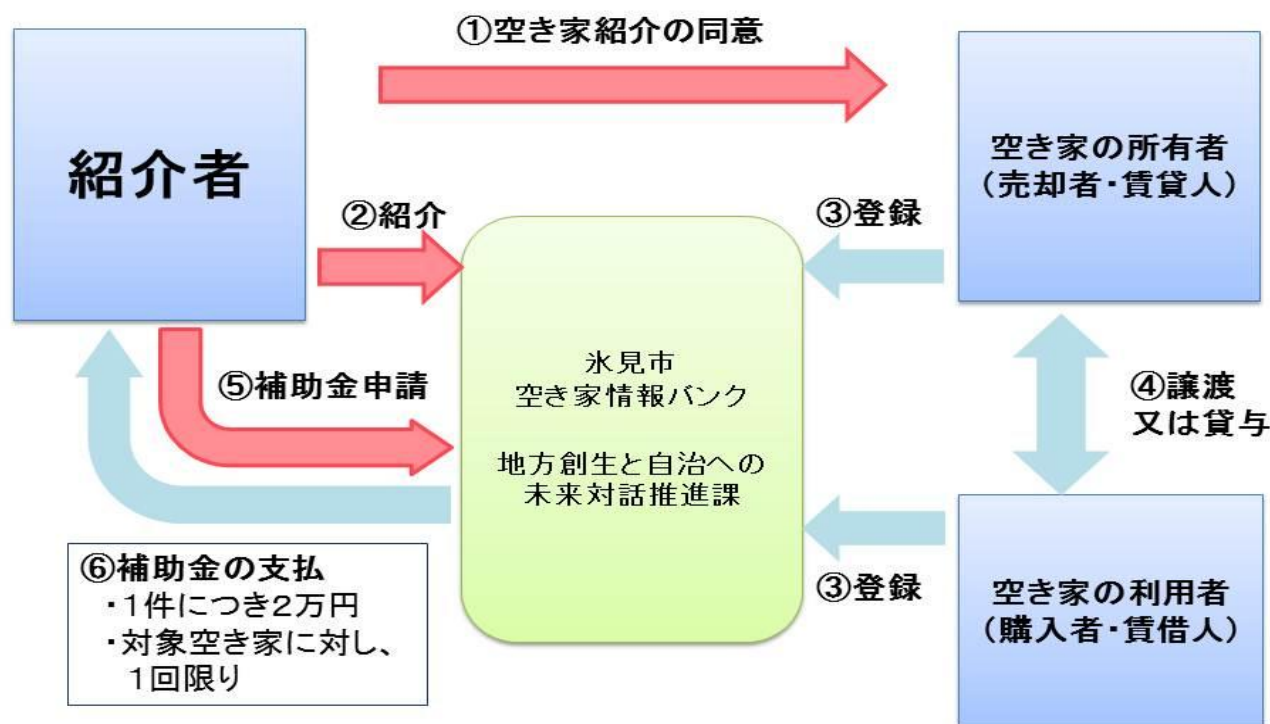
いのしし等鳥獣対策課 30－7088

平成27年4月1日より、空き家情報バンクに登録可能な空き家及びその所有者を市に紹介した者に対し、対象の空き家が氷見市空き家情報バンクに登録され、譲渡又は貸与されたときに補助金を交付します。

補助金の額は、1件につき20,000円とします。

(補助金の交付は、対象となる空き家に対し、1回限りとします。)

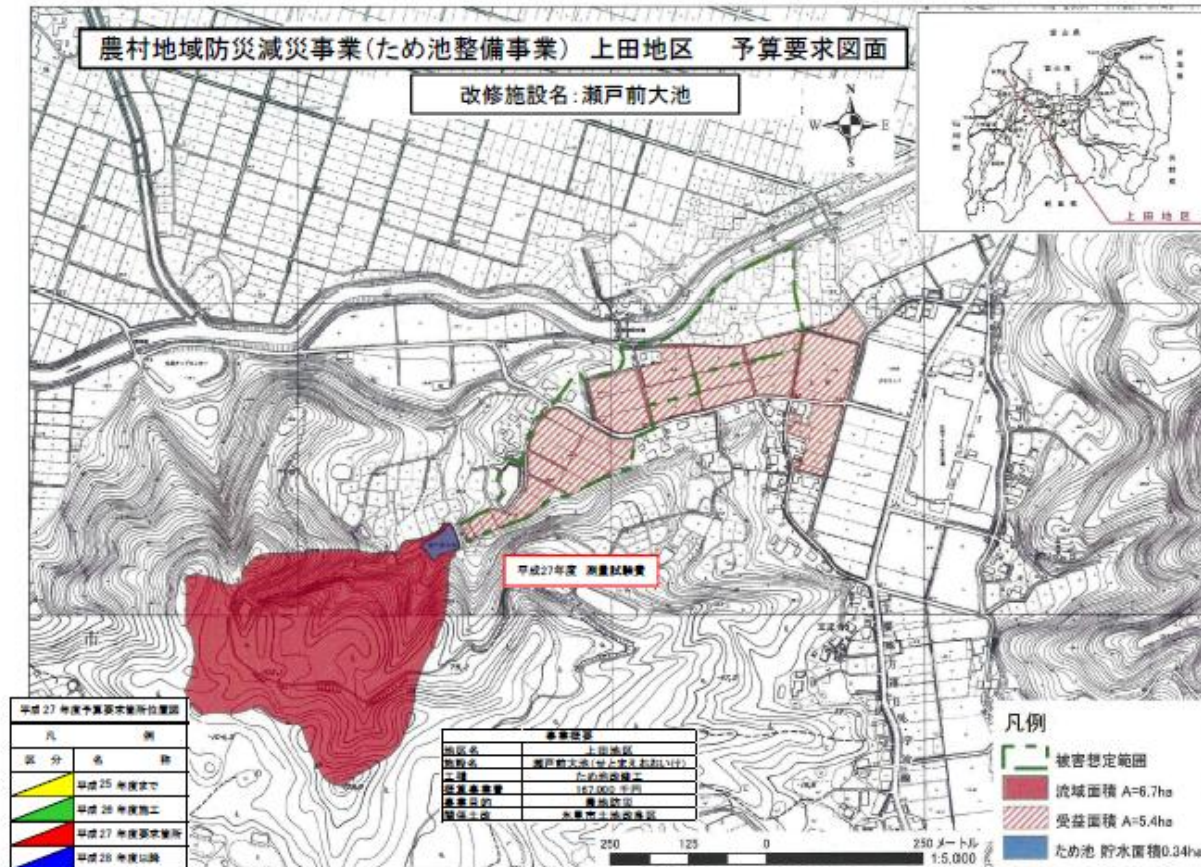
氷見市空き家紹介奨励補助金制度について(イメージ)



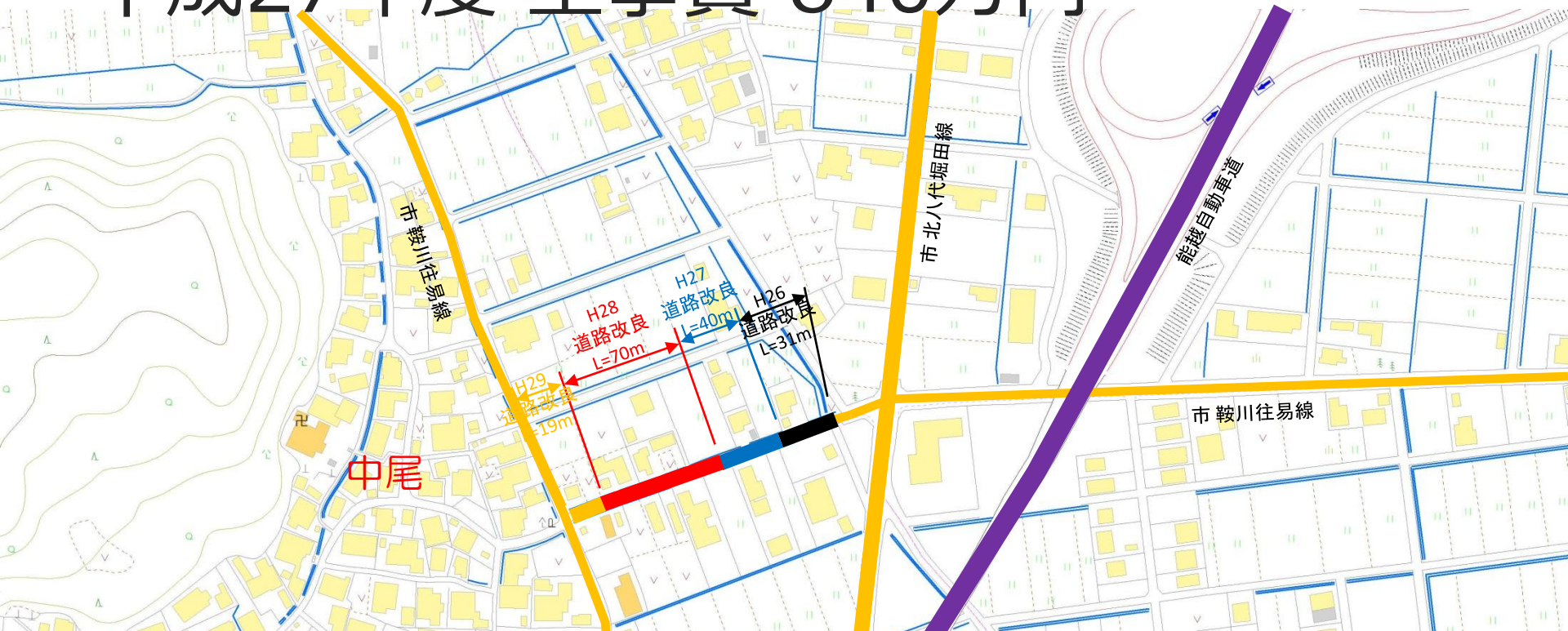
◆申請先及び問い合わせ先
地方創生と自治への未来対話推進課

TEL74-8075

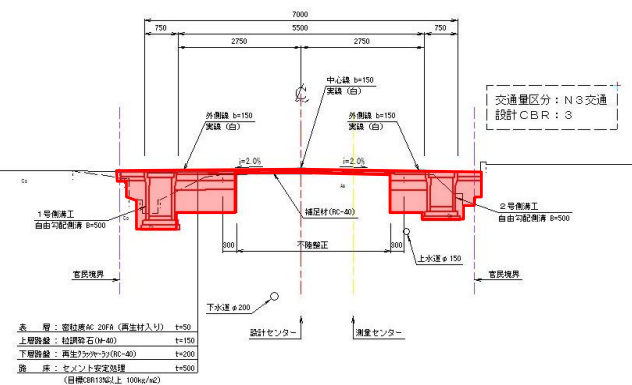
平成27年度 設計費 1,500万円 (うち市負担金150万円)



平成27年度 工事費 840万円



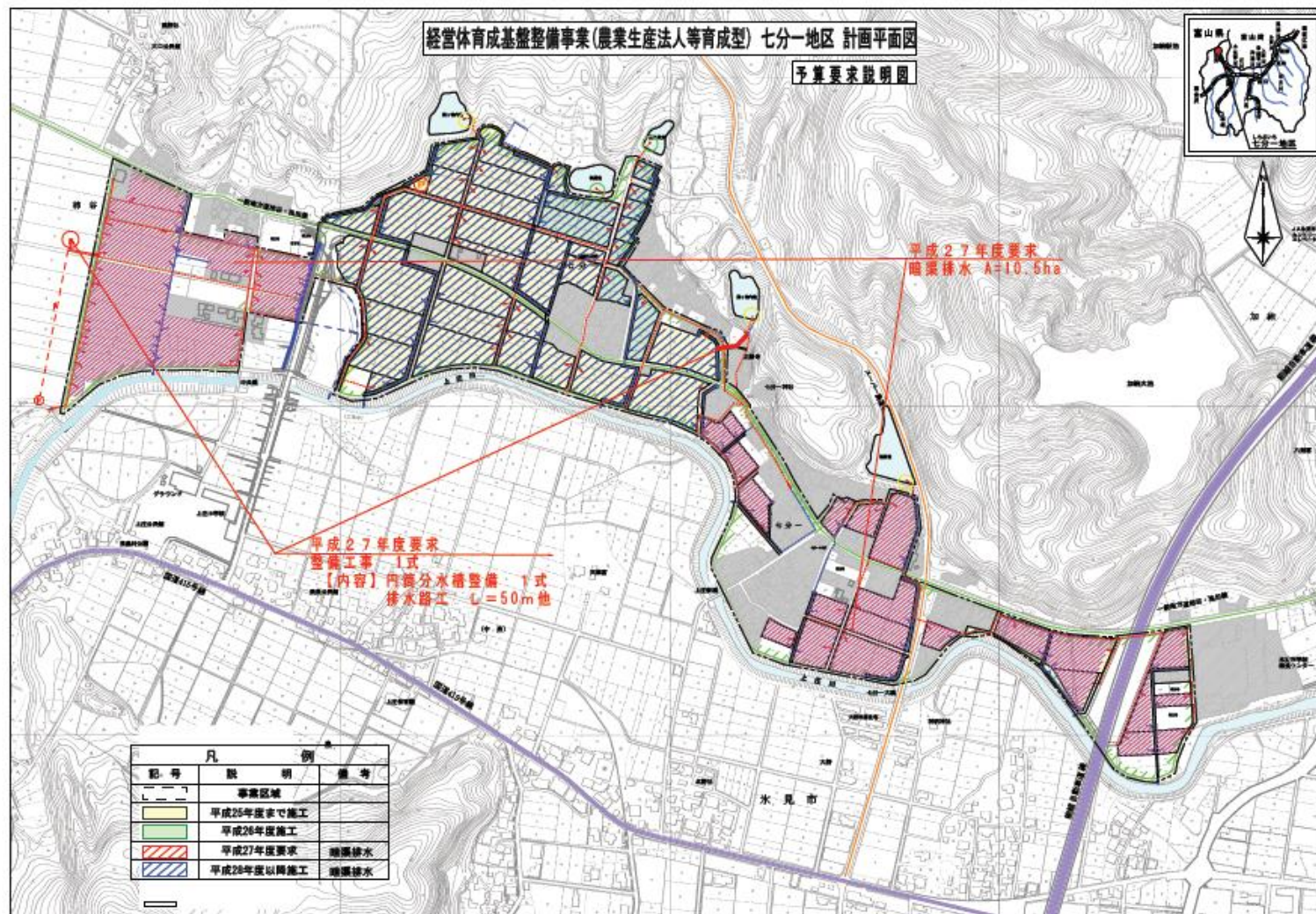
標準横断面図
S=1:50



上庄地区の事業概要

実施 年度	工 事 名	工事場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または 予算額
H27	公共等関連污水柵設置工事	大野	H27.4.23	H27.6.12	1,082,160
H27	公共等関連污水柵設置(その3)工事	大野	H27.5.14	H27.5.29	1,274,400
H27	泉緑地4連ブランコ境界柵設置工事	泉	H27.6.16	H27.7.3	331,560
H27	上田地内配水管布設替工事	上田	H27.7.22	H27.10.30	9,968,400
H27	県営ほ場整備(円筒分水槽・暗渠排水整備)事業費負担金	七分一	H22から継続事業		5,720,000
H27	県営ため池(瀬戸前大池)整備事業負担金	上田	H27.6.23	H27.12.15	1,500,000
H27	鞍川往易線道路改良事業	中尾・鞍川	10月予定		8,400,000
				H27計	28,276,520

県営ほ場整備事業費負担金(円筒分水槽・暗渠排水整備)



実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	氷見市有害鳥獣被害防止 対策補助金	電気柵 上田 1件	100,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止 対策補助金	電気柵 七分一 2件	39,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止 対策補助金	金網柵 中尾 1件	909,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止 対策補助金	金網柵 泉 1件	1,000,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
H27	氷見市浄化槽整備推進モデル 地区事業	中村地区において、浄化槽の 計画的な整備を行ったので、 浄化槽設置費などを補助する。	5,000,000	上下水道課	予定
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上 げ等)農村環境保全活動(花 壇の造成等)へ支援 大野(3,587,080円)、泉(1,386,460 円)、中尾(1,866,476円)、上田 (2,486,590円)、柿谷(2,487,880円)、 七分一(801,900円)、中村 (1,836,000円)	14,452,386	農林畜産課	
H27	森林整備地域活動支援交 付金事業	森林経営計画作成 柿谷 30ha 事業主体:西部森林組合	1,140,000	農林畜産課	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	道路の原材料支給事業	中村 砕石12 t	2,592	建設課道の 管理	
H27	道路の原材料支給事業	中村 生コン10m3	183,600	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	七分一 砕石30 t	6,480	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	上田 砕石20 t	4,320	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	上田 簡易舗装材20m3	162,000	建設課	
H27	水路整備地域支援事業	柿谷地内	238,347	建設課	
H27	市単土地改良事業	土地改良支援事業〔柿谷〕 ため池堤体補修	100,000	建設課	
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象とした ウォーキング教室を実施(7月 19日 細越大池)	5,000	健康課-健康づ くりボランティア 連絡協議会	
H27	健康教室	地域の健康づくりの意識を高 め実践に結びつけることを目 的に講義、実践を行なう。 (7月10日「適切なお酒との 付き合い方」)	職員対応	健康課	
H27	高齢者料理教室	食生活改善推進員から一般 住民へ生活習慣病予防の食 事についての講習会を開催す る(10月予定)	4,000	健康課-健康づ くりボランティア 連絡協議会	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(5月21日、秋頃予定)	4,200	健康課・健康づくりボランティア 連絡協議会	
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(5月28日)	3,000	健康課・健康づくりボランティア 連絡協議会	
H27	健診PR活動(旗立て)	地区内に健診PRの旗をたて、住民健診の受診勧奨を行なう(7～9月)	2,000	健康課・健康づくりボランティア 連絡協議会	
		H27計	23,355,925		

質疑応答

【上庄小学校育友会】

○ 上庄小学校グラウンドについて

上庄小学校グラウンドの維持管理について、雨が降ると砂が流れ、風が吹くと砂が飛ばされ下から固い地盤が露出し、年々グラウンドの状態が悪くなっています。昨年、市の助成を活用し、大型ダンプの5台の砂を入れたが、1台 $5\text{ m}^3 \times 5\text{ 台} = 25\text{ m}^3$ は厚さ 3 cm で敷均しても 830 m^2 （約 $29\text{ m} \times 29\text{ m}$ ）と広大なグラウンドの中心部に少し入った程度で、まだ3倍ほどの砂を投入しなければ、均一な状態とは言えません。

また、敷均し作業は育友会で行ったが、手作業では困難なため、地元建設会社より重機を出してもらい作業しました。

このようにグラウンドの維持修繕は、費用・労力の負担が大きいいため、市で整備し、児童が快適に、安全に使用できるグラウンドを要望します。

【回答】上庄小学校グラウンドについて

上庄小学校では昨年度、保護者の皆様と学校とで学校環境を整備する「ふれあい学校環境づくり事業」により、グラウンドを整備していただき、深く感謝申し上げます。

本事業は、「協働のまちづくり」の一環として、原材料や消耗品代を市が負担し、市民の皆様に、学校施設の修繕等をしていただいているものであります。

学校のグラウンド管理につきましては、本事業とは別に、毎年、各小学校に7万円の予算を配当し、学校で山砂等を購入し、くぼみ等の補修に使用していただいております。こうした補修により、グラウンドは相当程度改善されるものと考えております。

しかしながら、グラウンドが、災害などにより毎年のメンテナンスでカバーしきれないような危険な状態となった場合は、教育委員会として適切な対策を講じてまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【上庄地区】

○ 国道415号バイパスの早期完成

バイパスに接続する県道、市道（アクセス）の位置付け
事業認可時における関係地区の要望事項の実現の励行

【回答】

アクセス道路につきましては、関係地区全体としての必要性や重要性を検討した上で、各地区と相談しながら、整備の優先順位や整備レベルを決めていきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

事業認可時における関係地区の要望事項につきましては、平成20年9月に一度整理・回答させていただいております。その後の、詳細設計の完了や説明会等で出た要望等との整合を図りながら、再度要望事項の整理を行ないます。その上で実施可能なものにつきましては、実現に向けて取り組んでまいります。

【上庄地区】

○上庄川七分一から上田までの区間改修の早期実現

【回答】

上庄川の河川改修について、県は、平成27年度に河口から国道160号までの区間について実施計画を策定し、平成28年度より河口から改修工事を行う計画と聞いております。

河川改修には、長期の改修期間が必要ですが、今後とも、七分一から上田までの区間について、より早期の実現に向け県に働きかけてまいります。

【中村地区】

1 中村栗屋堤 余水はけ改修工事

今年の県単工事組み入れ要望を氷見市土地改良区、農地林務課ため池担当へ既に申請。現地視察を終え工事見積書も手渡し済みなので、お取り計らい願います。

【回答】

一度現地立会を行いました。ため池の水位が低く、漏水状況が確認できませんでした。確認したうえで、関係機関と協議を行っていきたいと考えています。

2 上庄川の雑木伐採

中村地区水面近くに雑木（主に柳の木）が大きくなり、大雨の時には、その雑木に木の屑やゴミが引っかかる。昨年、上庄大橋と中村大橋を一部伐採したとおり、今年も引き続き上流川向橋にむけて伐採を要望します。氷見土木事務所河川班にはお願いしています。

【回答】

市からも県の河川班に要望を伝えてきました。

県では、管理している河川のパトロールを行い、現地を確認して、順次雑木等処理しています。

要望の箇所についても、現地を確認することです。

【上田地区】

○ 谷内山のため池の改修

谷内山のため池は平成20年度に復旧工事を終えましたが、その後も堤体法尻から漏水が続いています。

県高岡農林振興センターや氷見市土地改良区等の指導の下、漏水量の調査を平成25年7月から定期的に調査報告しています。現在は、ため池の貯水量を多くすると漏水量が多いので、水を少しずつしか溜めていません。

万一決壊した場合、ため池の下流に住宅もあることから、人的被害が出るのではと非常に危惧しており、改修工事をお願いします。

【回答】

この池は、平成26年度に耐震性調査を実施しております。今後のため池整備計画については、調査結果を踏まえ、関係機関と協議を行っていきたいと考えています。

【大野地区】

○ 市道の拡幅

整備中の国道415号の表大野地内と沢地内を結ぶＴ字路交差点において、現状は市道幅が狭く、また、片側が昭和用水であり、危険箇所である。

国道415号整備に際しては、市道入口の拡幅等、安全に配慮した設計を要望します。

【回答】

国道415号の改良により、Ｔ字型交差点の形状が変わることが予想されますので、国道の工事にあわせて同交差点での安全対策を検討していきます。

【中尾地区】

1 経営体育成基盤整備事業の採択について

【回答】

現在、市内3地区で「ほ場整備事業」が実施されています。
この事業は、氷見市はもとより県内でも要望が多数あることから、他の地区からの要望状況も踏まえ、関係機関と協議してまいります。

【中尾地区】

2 中尾転作研修センタートイレの改善

今年度の自治会事業として“若返ろう中尾”「集り、笑い、動く」を目標に研修センター＆広場の解放を実施し非常に好評です。トイレを使用する時は、広場から研修センター内トイレへ駆け込む状況なので、広場から直接トイレを使用できるように改修をお願いします。

【回答】

地域の公民館等の改修については、クリエイト・マイ・タウン事業にコミュニティセンター改造事業という補助事業があります。地域の自治会等が実施主体となる事業で、補助率は事業費の1/5、補助額の上限は150万円です。事業内容の詳細や申請手続については、地方創生と自治への未来対話推進課(74-8013)にお問い合わせください。

【中尾地区】

3 市道鞍川往易線の改良工事の推進

平成26年度より工事開始。総延長約160mのうち26年度は30m整備したが、出来る限り早く完了してください。

【回答】

平成25年度に測量設計を行い、平成26年度にL=31mの道路改良を行いました。引き続き今年度は、L=40mの道路改良を行い、平成29年度の完成を目指し整備を進めてまいります。

【柿谷地区】

○ 市道上山田 2 号線路肩の補修について

平成25年頃から、市道山田 2 号線の市道上山田 3 号線との分岐地点寄りに、新たな段差が発生しはじめ、隣接住民から不安を訴えていますので、一日も速い危険予防的な措置が講じられますよう、お願いします。

【回答】

現地を確認したところ、段差の程度が軽度でありました。

今後の経過を注意深く観察していきたいと考えております。

【柿谷、七分一地区】

○ 川田池の水路、堤体、管理道路の復旧及び堆積土砂の浚渫について

川田池は、柿谷地区、七分一地区の水田受益面積約45ヘクタールに、農業用水を供給する重要な基幹施設です。

近年、貯水池流入部分水路の不同沈下や側壁内方の土砂流出、堤体の崩壊による管理道路の亀裂道路の亀裂発生に加え、大量の土砂が堆積していますので、水路・堤体・管理道路の補修及び堆積土砂の浚渫をお願いします。

【回答】

ため池等の整備については、関係機関と協議し、整備方法を検討してまいります。

また、地元負担も必要となりますが、市といたしましても応分の負担をしてまいります。

【七分一地区】

○ 市道大野七分一線の改良補修について

市道大野七分一線に付帯する道路側溝の破損が著しく、側溝清掃を実施しても路面排水の滞留が生じたり、ひび割れ等による漏水等の不具合が顕著になってきています。

路面排水の円滑な流れを確保して、住民の安全で安心な暮らしと良好な衛生環境を保全する観点から、市道改良事業の推進をお願いします。

【回答】

地元が主体となり、市が補助を行う道路整備地域支援事業もごございますので、活用のご検討をお願いします。

【泉地区】

- 1 国道415号バイパス整備の促進、泉地内の用地買収の早急な取り組み

【回答】

泉地区の用地買収につきましては、昨年度末に開催させていただいた用地の説明会でもありましたように、県は今年度予算での用地買収を予定しております。具体的な日程はまだ決まっていないとのことですが、その際には関係者の皆様方のご協力をお願いいたします。

- 2 市道鞍川往易線の内、往易区間約150mの水路路肩の崩壊

【回答】

市の方で路肩盛土の補修を行います。

3 市道中泉線の残り130mの舗装工事の実施

【回答】

原材料支給事業又は道路整備支援事業において、舗装を行うこともできますので、地元で活用の検討をお願いします。

4 紅谷川の工事に伴う残土の受け入れ先（泉地内）の排水路仮設工の施工

【回答】

紅谷川の浚渫は、今年度から実施していく予定ですが、浚渫した土砂は、水分を多く含んでいるので、仮置きが必要と考えています。

また、泉地内の受入れ先は、排水路であるため、搬入路等や土地所有者の問題点もあり、地元のみなさんのご協力もお願いします。

地方創生について

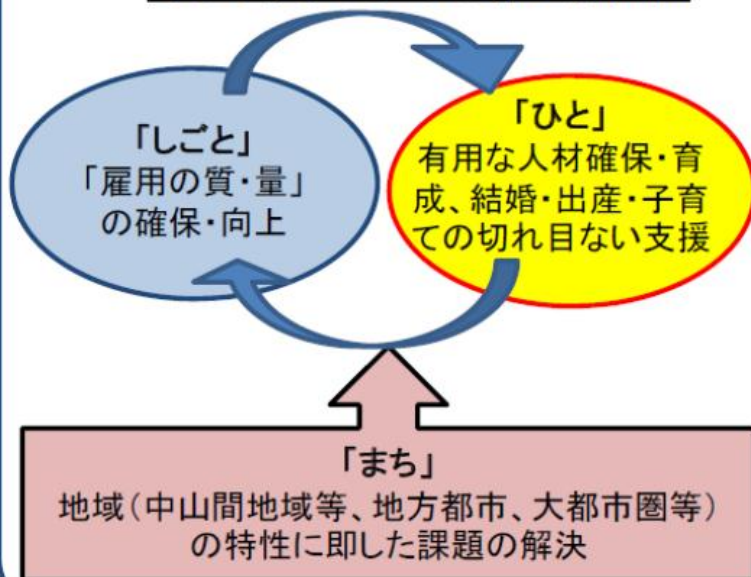
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
 - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
 - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「バラマキ」
 - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
 - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
 - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性** 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性** 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性** 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性** ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視** 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
 - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」: 人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」: 人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

＜地方人口ビジョン＞

- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

＜地方版総合戦略＞

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

地方版総合戦略の策定

長期ビジョン【2060年まで】

総合戦略【2019年度までの5か年】

国

中長期展望

I 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口を確保

- ◆ 人口減少の歯止め
国民の希望が実現した場合の出生率
(国民希望出生率)=1.8
- ◆ 「東京一極集中」の是正

II 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP
成長率1.5~2%程度維持

基本目標

地方における安定した雇用を創出する

- ◆ 若者雇用創出数(地方)
2020年までの5年間で30万人など

地方への新しいひとの流れをつくる

- ◆ 地方・東京圏の転出入均等(2020年)
- ・地方→東京圏転入6万人減
- ・東京圏→地方転出4万人増など

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 結婚希望実績指標90%(2010年68%)
- ◆ 夫婦子ども数予定(2.12)実績指標95%(2010年93%)など

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆ 地域連携数など
- ※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

政策パッケージ

- 農林水産業の成長産業化 6次産業市場10兆円:就業者数5万人創出
- 訪日外国人旅行消費額3兆円へ(2013年1.4兆円):雇用者数8万人創出
- 地域の中核企業、中核企業候補1,000社支援:雇用者数8万人創出
- 地方移住の推進:年間移住あっせん件数11,000件
- 企業の地方拠点強化:拠点強化件数7,500件、雇用者数4万人増加
- 地方大学等活性化:自県大学進学者割合平均36%(2013年度32.9%)
- 若い世代の経済的安定:若者就業率78%(2013年度75.4%)
- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
:支援ニーズの高い妊産婦への支援実施100%
- ワーク・ライフ・バランス実現:男性の育児休業取得率13%(2013年2.03%)
- 「小さな拠点」の形成:「小さな拠点」形成数
- 定住自立圏の形成促進:協定締結等圏域数(140圏域)
- 既存ストックのマネジメント:中古・リフォーム市場規模20兆円(2010年10兆円)

地方人口ビジョン【2060年までを基本】

地方版総合戦略【2019年度までの5か年】

都道府県・市町村

中長期展望

I 人口の現状分析

- ・人口動向や将来人口推計の分析

II 人口の将来展望

- ・目指すべき将来の方向や
施策の方向性を踏まえた
人口の将来展望

基本目標と基本的方向

地方における安定した雇用を創出する

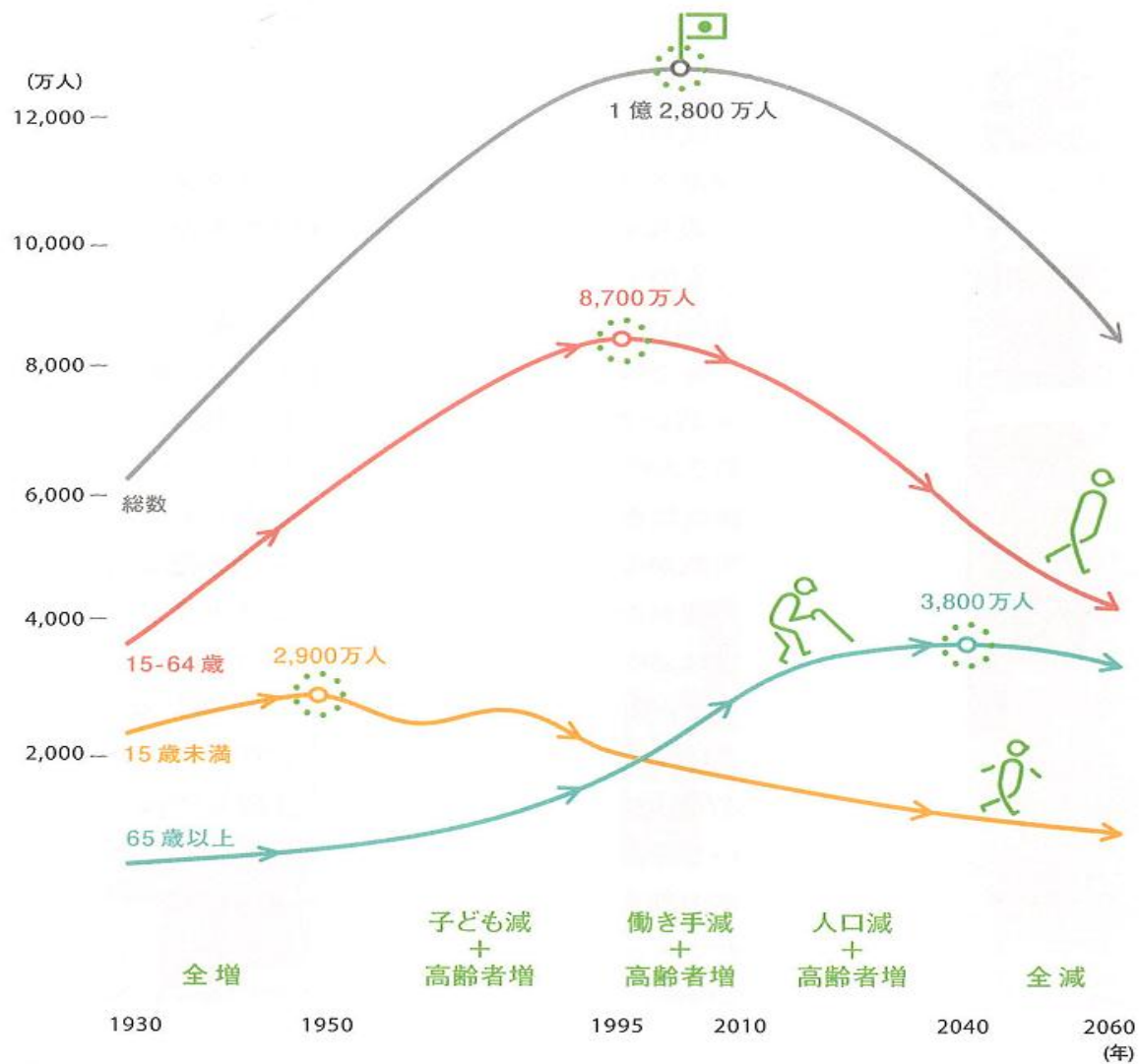
地方への新しいひとの流れをつくる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

具体的な施策※施策ごとに重要業績指標(KPI)を設定

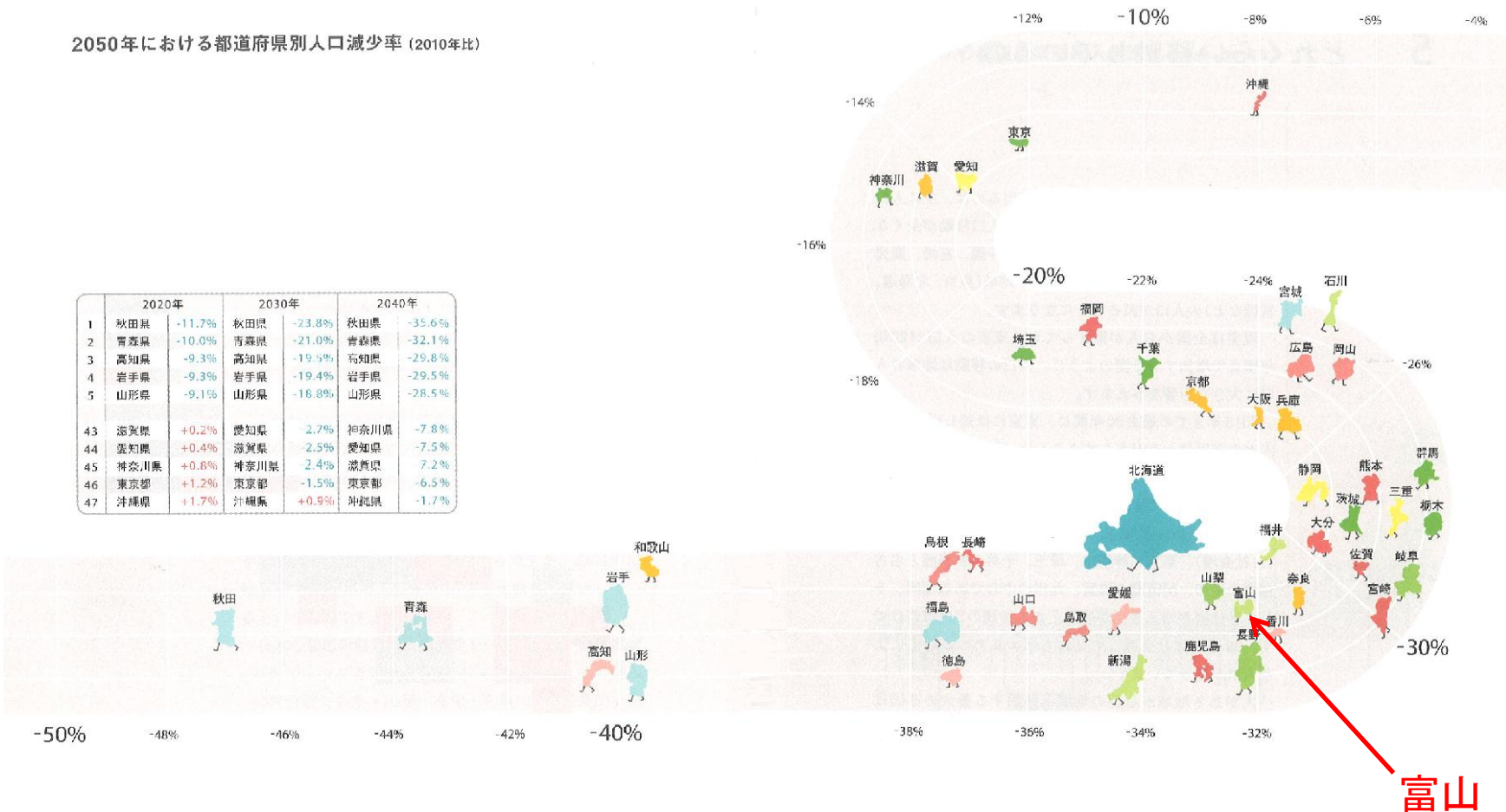
3 区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



出典：人口減少×デザイン 著 筧 裕介

2050年における都道府県別人口減少率（2010年比）

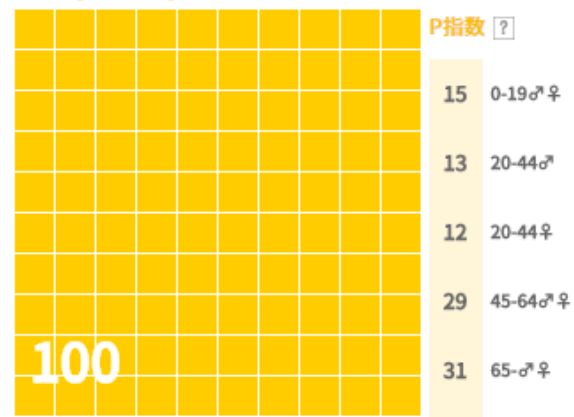
	2020年	2030年	2040年
1 秋田県	-11.7%	秋田県 -23.8%	秋田県 -35.6%
2 青森県	-10.0%	青森県 -21.0%	青森県 -32.1%
3 高知県	-9.3%	高知県 -19.5%	高知県 -29.8%
4 岩手県	-9.3%	岩手県 -19.4%	岩手県 -29.5%
5 山形県	-9.1%	山形県 -18.8%	山形県 -28.5%
43 滋賀県	+0.2%	滋賀県 -2.7%	滋賀県 -7.8%
44 愛知県	+0.4%	愛知県 -2.5%	愛知県 -7.5%
45 神奈川県	+0.6%	神奈川県 -2.4%	神奈川県 -7.2%
46 東京都	+1.2%	東京都 -1.5%	東京都 -6.5%
47 沖縄県	+1.7%	沖縄県 +0.9%	沖縄県 -1.7%



人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



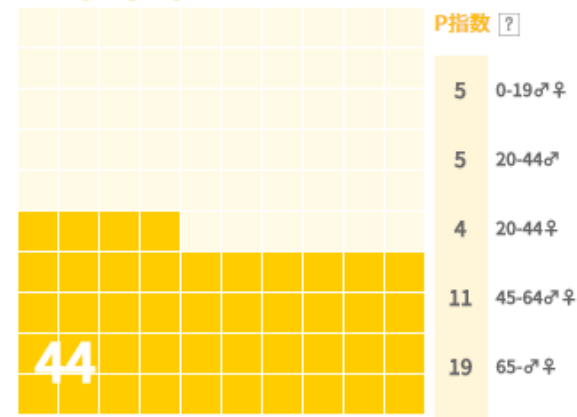
合計 約51,000人

+

なんの対策も
行わない

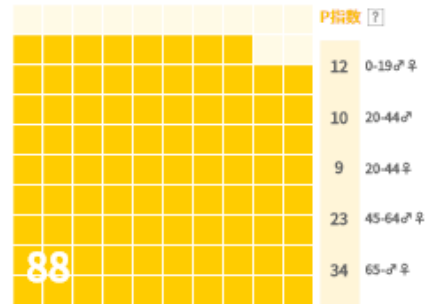
=

2060



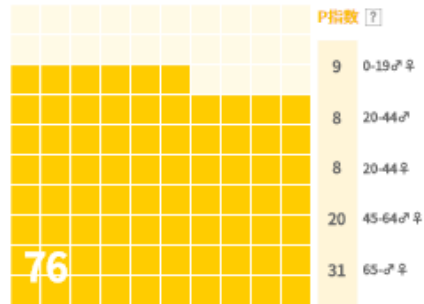
合計 約23,000人

2020



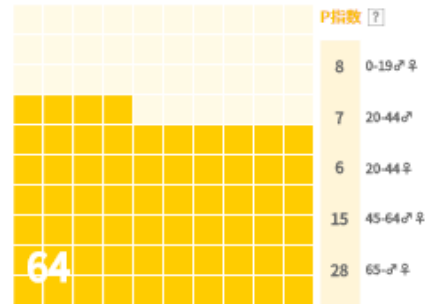
合計 約45,000人

2030



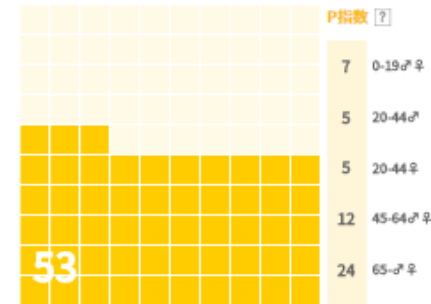
合計 約39,000人

2040



合計 約33,000人

2050

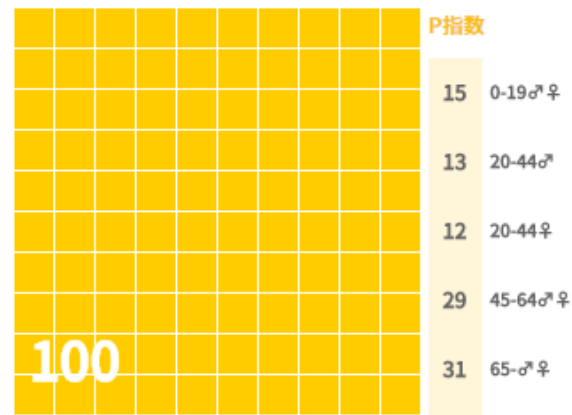


合計 約27,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



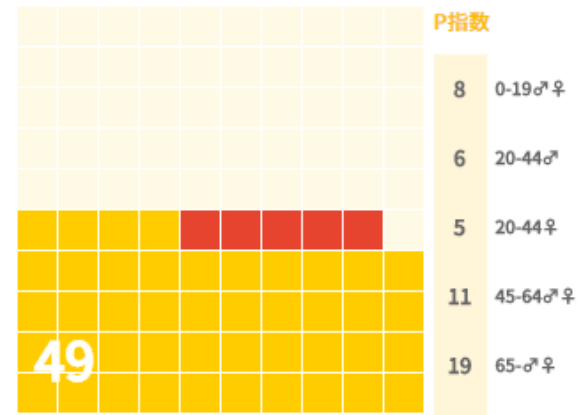
合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**



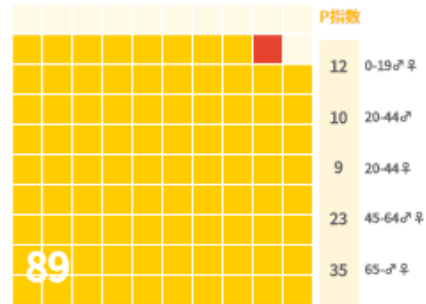
2060



合計 約23,000人 → 25,000人

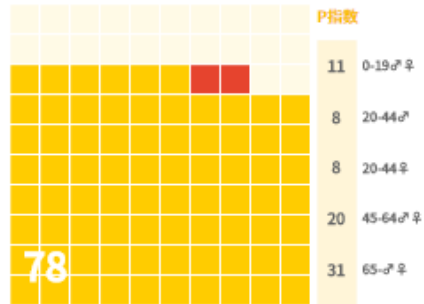
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人のまま

2020



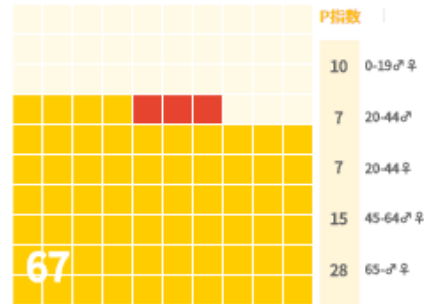
合計 約45,000人 → 45,000人

2030



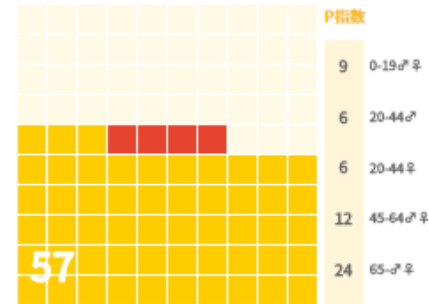
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 34,000人

2050

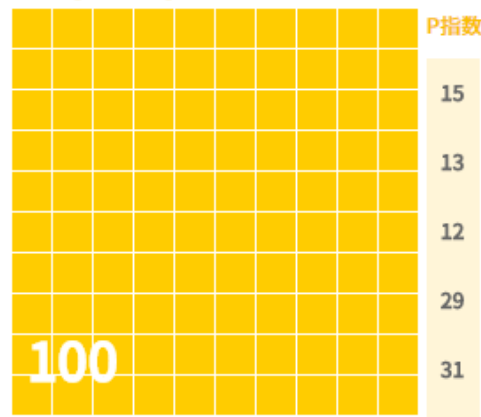


合計 約27,000人 → 29,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数（年間）
102人増やす

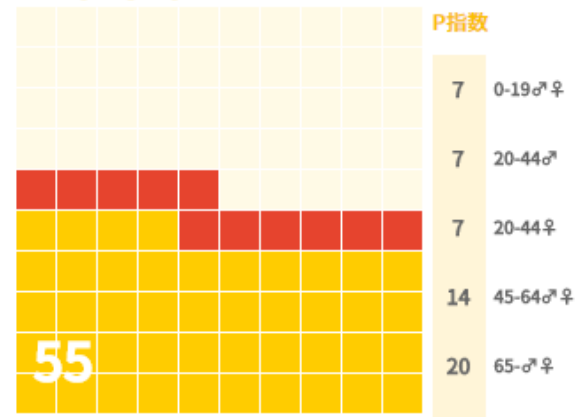
増やす

転出者数（年間）を

0人

減らす

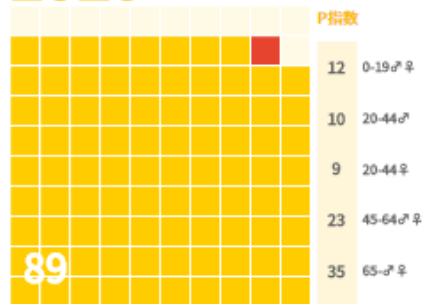
2060



合計 約23,000人 → 28,000人

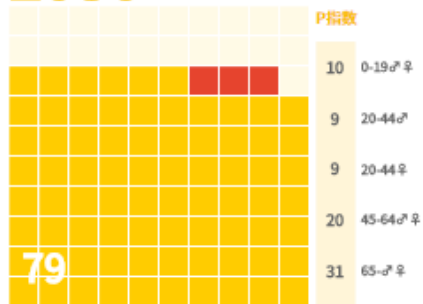
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37のまま
転入者数(20-49歳)**613人→715に増やす**
転出者数(15-24歳)425人のまま

2020



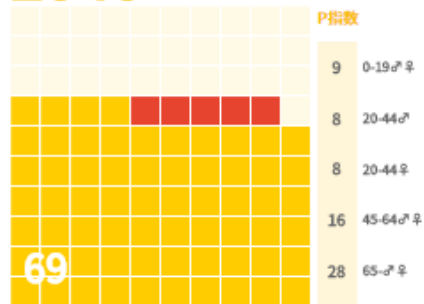
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



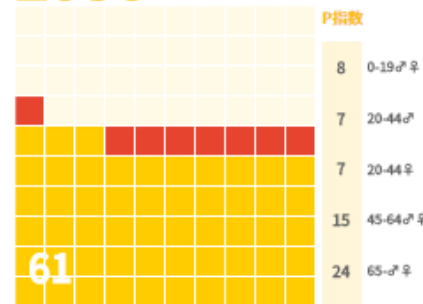
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 36,000人

2050

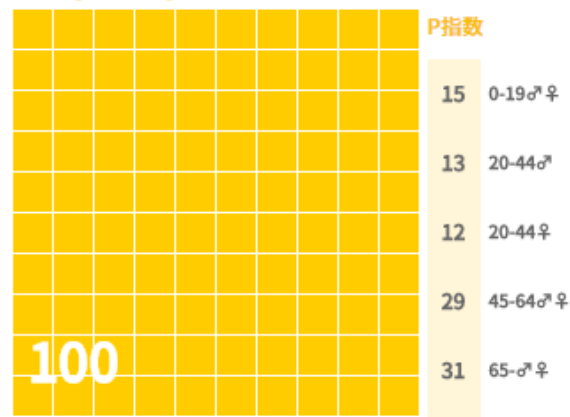


合計 約27,000人 → 31,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数（年間）を

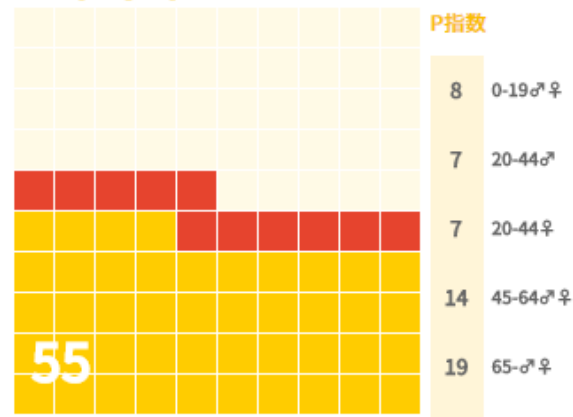
0人

増やす

転出者数（年間）
100人減らす

減らす

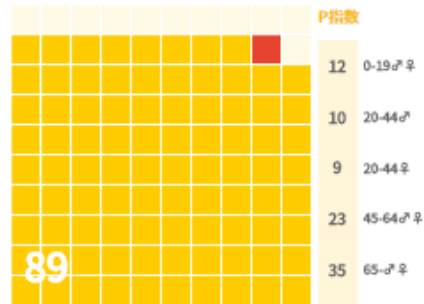
2060



合計 約23,000人 → 28,000人

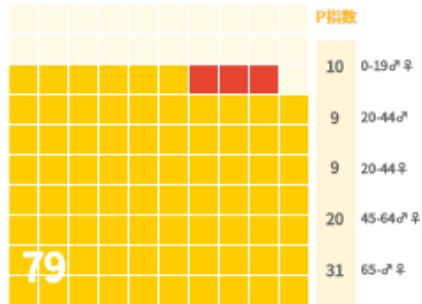
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から1.80へ
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人→**325人まで減らす**

2020



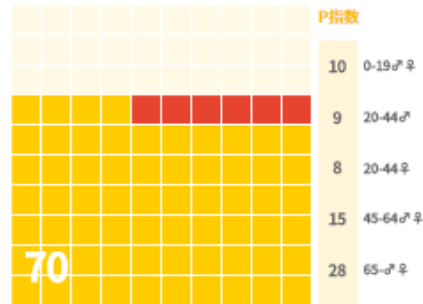
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



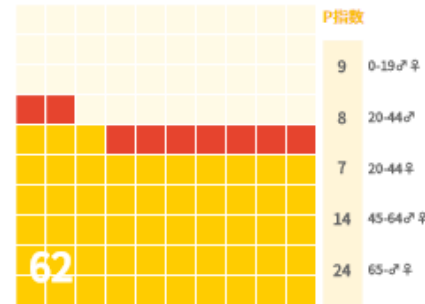
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 36,000人

2050

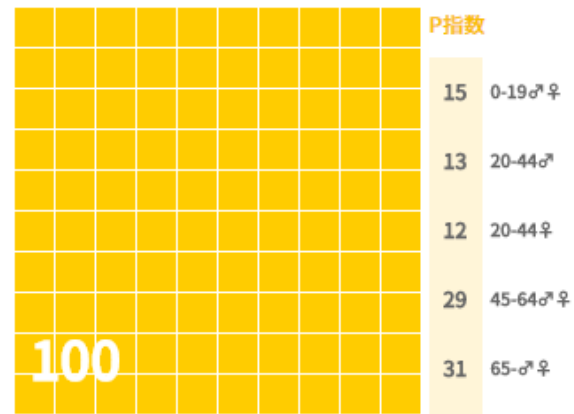


合計 約27,000人 → 32,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**

にする

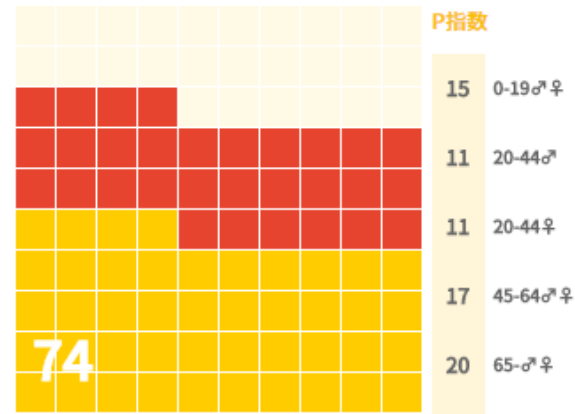
転入者数（年間）
102人増やす

増やす

転出者数（年間）
100人減らす

減らす

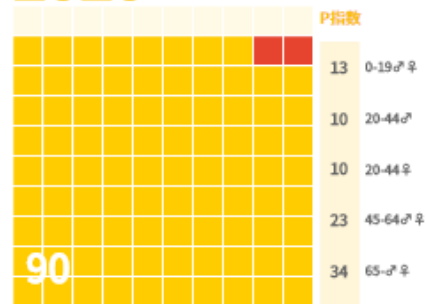
2060



合計 約23,000人 → 38,000人

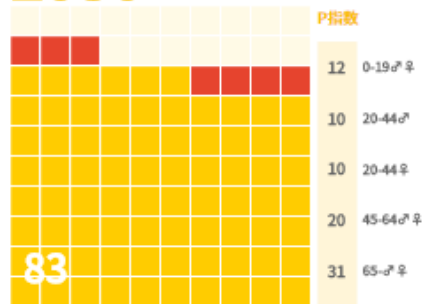
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数（20-49歳）**613人→715に増やす**
転出者数（15-24歳）325人まで減らす

2020



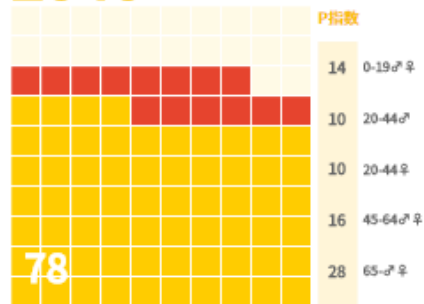
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



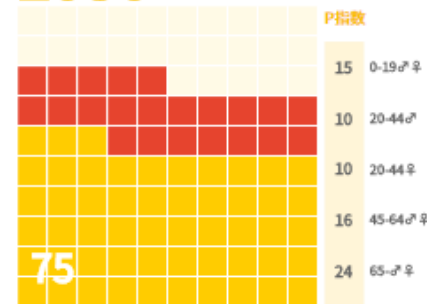
合計 約39,000人 → 42,000人

2040



合計 約33,000人 → 40,000人

2050

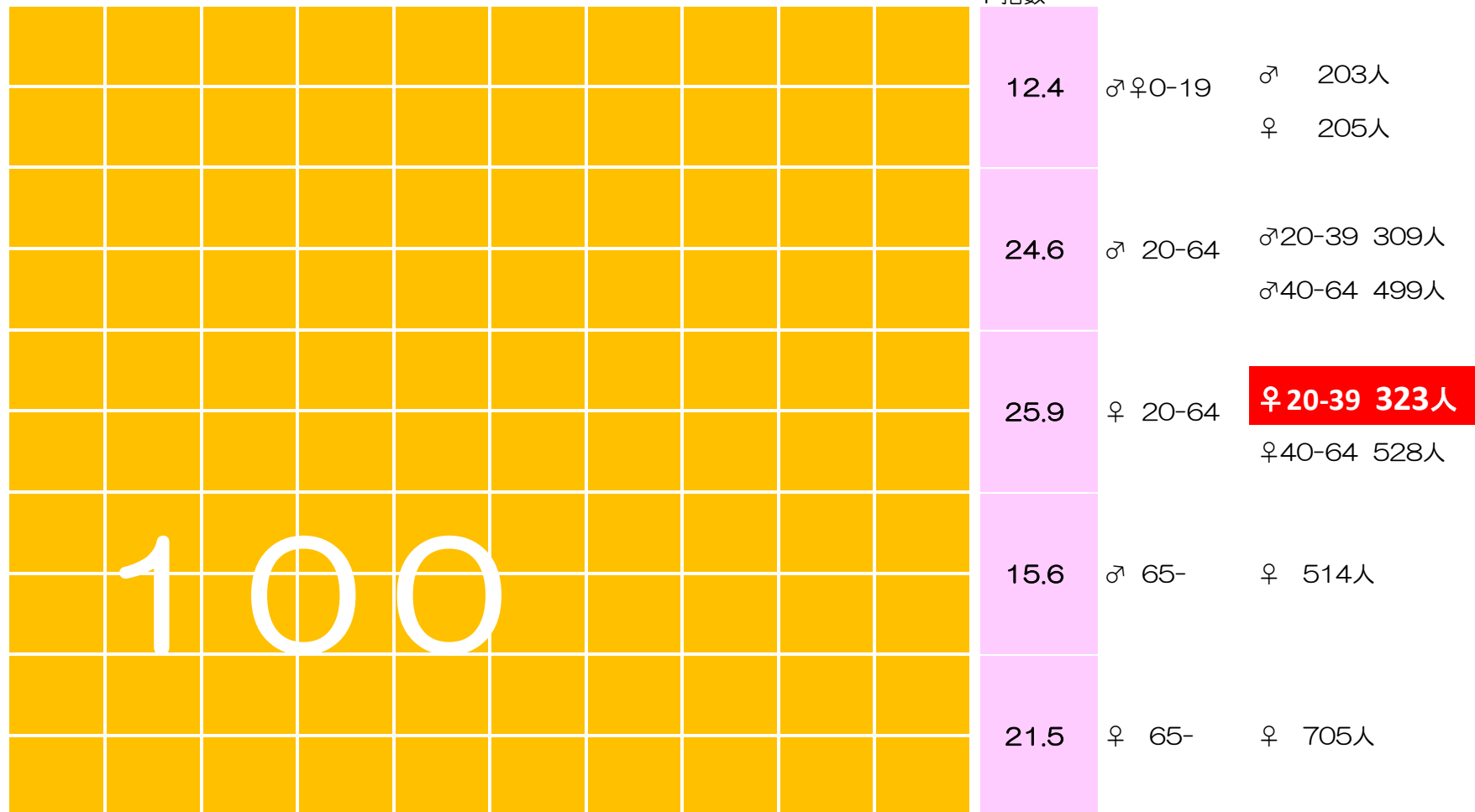


合計 約27,000人 → 38,000人

2010

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

P指数

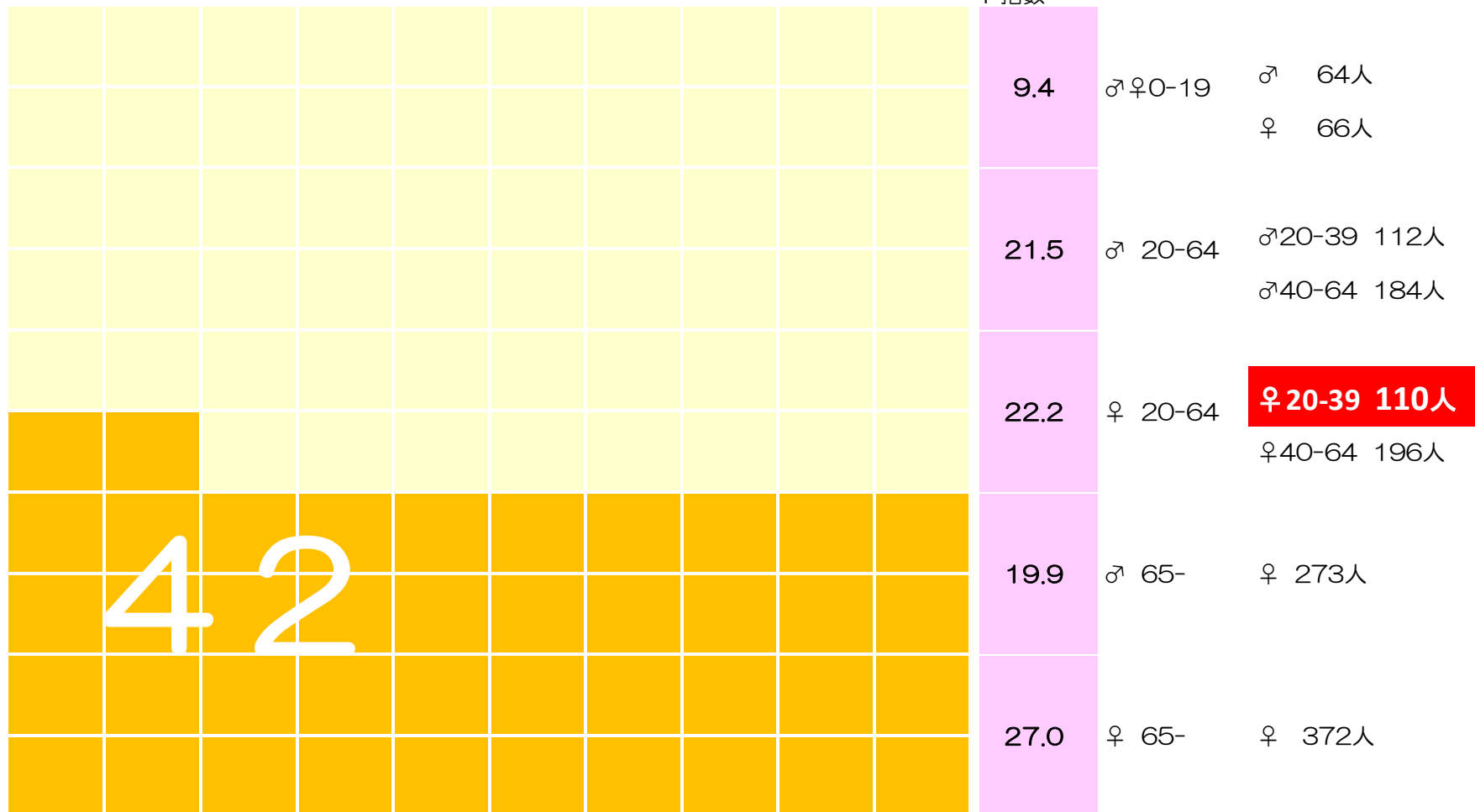


上庄地区 人口3,286人

2060

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

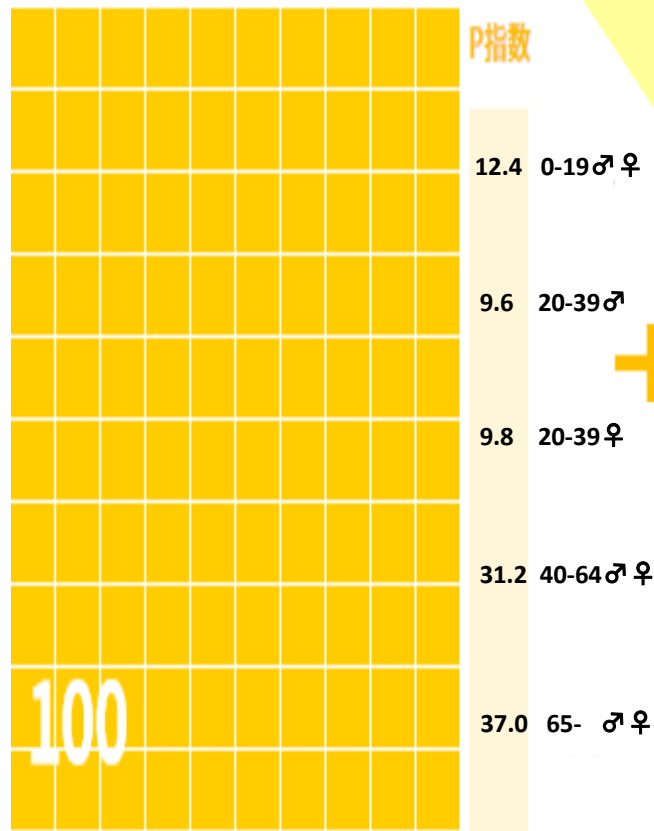
P指数



上庄地区 人口1,377人（推計）

上庄 地区 人口 3, 2 8 6 人

2010

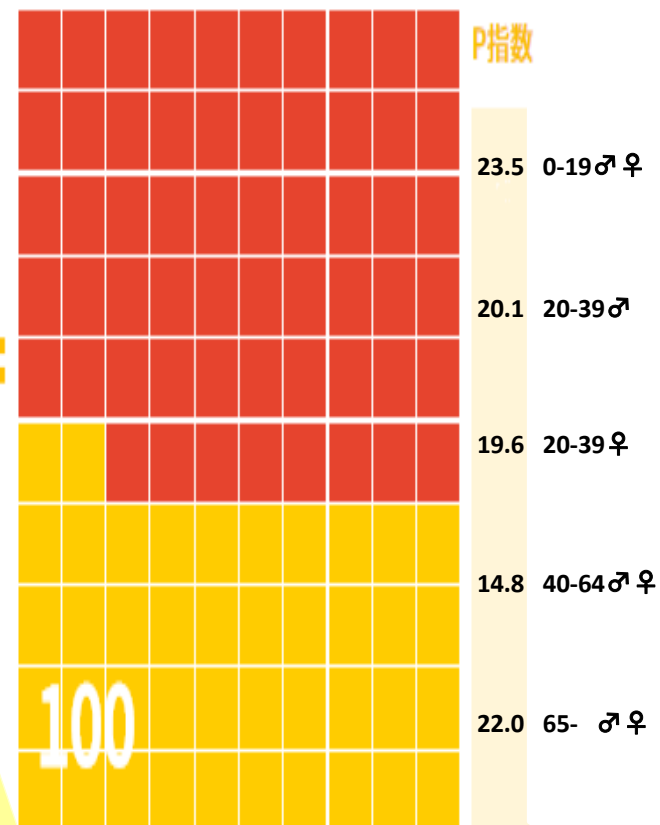


合計特殊出生率
2.1とする

年間転入者数(20-49歳)
11.6人増やす

年間転出者数(15-24歳)
11.6人減らす

2060



上庄 地区 人口 3, 2 8 6 人

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ② 各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③ いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q 1. 上庄地区へ、20～49歳の転入者を毎年11.6人増やすために、どんなことをすればよいでしょうか。

Q 2. 上庄地区から、15～24歳の転出者を毎年11.6人減らすために、どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

上庄地区代表